

平成 29 年 12 月 11 日(月)



今日は鹿児島市鴨池新町にある、鹿児島県警察本部交通部交通企画課で「MBC ラジオポニー号」が「モーニングスマイル」の中継を行いました。

ポニーメイツの赤塚さん、松下さんが、交通部交通企画課理事官の美園竜一さんにお話を伺いました。

～ 中 継 内 容 ～

12月10日から年末年始の交通事故防止運動が始まっており、今年も残すところ半月あまりとなりまして、年末に向けて交通量も増えてきていますが、この時期心配になるのが交通事故ということで、県内の交通事故の発生状況として、昨日12月10日現在で6,145件発生しまして、7,216人の方が怪我をされ、61人の方が亡くなっている状況です。発生件数、負傷者数は、前年に比べて減少していますが、死者数は増加している状況です。

年末年始の交通事故防止運動は12月10日から来年の1月10日までを期間として、「年末年始マナーアップで事故防止」をスローガンの下、3つの運動の重点を掲げて実施しています。

- 1 早朝、夕暮れ時、夜間における交通事故防止
- 2 飲酒運転の根絶
- 3 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

1つ目の「早朝、夕暮れ時、夜間における交通事故防止」について、今の時期は1年中で夜が最も長くなる時期で例年日没から夜間にかけての交通事故が多く発生している状況です。

夜間の事故防止としてドライバーの皆さんに徹底していただきたいのは日没30分前の早めのライト点灯と夜間走行する際には、先行車や対向車がない時には、原則、上向きライトで走行して、歩行者などを少しでも早く発見できる

ようにしてください。

ただ、歩行者を発見した際に、上向きのままだと、ライトの光で目が眩み、転倒したり、他の車に衝突してしまう可能性があるため、すぐにライトを下向きに切り替えるなどの配慮もお願いします。

今年、夜間に歩行中や自転車乗車中に交通事故で亡くなられた方が 9 人いらっしゃいますが、ほぼ全員が夜光反射材を着けていない状況でした。

夜光反射材を着けることによって、車のライトが下向きであっても約 120 メートル手前から存在を確認できますので、夕方から夜間に外出される方は明るい服装に夜光反射材の着用を徹底していただきたいと思います

2 つ目の「飲酒運転の根絶」について、例年、年末年始になると、飲酒の機会が増えることに伴って、飲酒運転による交通事故や違反が増加する傾向にあります。

昨日現在、飲酒運転関連の交通事故は 62 件発生しており、未だ飲酒運転が後を絶たない状況です。

飲酒をすると注意力や判断力が低下するほか、身体機能が低下するなどの変化が現れます。

特に飲酒運転した場合、気持ちが大きくなり、速度超過や信号無視などの危険な運転をしたり、操作ミスをしたりと交通事故を起こす可能性が高くなり、大変危険です。

飲酒運転は重大事故や死亡事故を起こす要因となるなど、大変危険な行為であり、重大な犯罪行為です。

また、飲酒運転をするおそれのある人にお酒や車両を提供したり、飲酒運転の車両に同乗した人も、飲酒運転をした者と同様に罰せられます。

飲酒運転は、「しない・させない・許さない」を合い言葉に家庭や職場など社会全体で飲酒運転の根絶に努めていただきたいと思います。

3 つ目の「全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」について、道路交通法では運転席、助手席はもちろんのこと後部座席もシートベルトの着用が義務付けられています。

昨年、全国で実施しましたシートベルトとチャイルドシートの着用率調査で、本県は一般道路での後部座席のシートベルトの着用率が 21.8%で全国ワースト 1 位、チャイルドシート着用率が 47.5%で全国ワースト 2 位と大変不名誉な結果でした。

未だ県民の皆さんに全席シートベルト着用義務が浸透していないものと認識しています。

もし、シートベルトを着用していない状態で交通事故に遭った場合、座席や天井などで全身を強打する恐れがあるほか、衝突の勢いが激しいと、窓やドアから車外に放り出される危険性があり、大怪我をしたり、最悪の場合、命を落とすことがあるので、運転する人はもちろんのこと助手席、後部座席を含めて全ての座席でシートベルトの着用をお願いします。

併せて、6歳未満のお子さんを乗せる場合、必ずお子さんをチャイルドシートに乗車させるようにお願いします。

車の運転者は、自分の命だけでなく、大切な家族や友人などの命を預かっていることを忘れずに、必ず全員にシートベルトやチャイルドシートを着用させてから運転を開始しましょう。

～美園さんからラジオをお聞きのみなさんにメッセージ～

今年も残り1ヶ月を切り、師走の忙しい時期を迎えております。

この時期はお酒を飲む機会が増えたり、県外からの帰省等で車が増えるなど、普段と違う交通の流れとなります。

交通事故のない社会をつくるのには、皆さんの交通事故や違反を起こさないという心がけが大切だと思います。

道路を利用する全ての方が、安全意識を持って行動していただくことによって交通事故はなくなると思います。

ドライバーの皆さんは、飲酒運転は絶対にすることなく、思いやりと譲り合いの精神で交通ルールをしっかりと守り、安全運転に努めていただくようお願いいたします。

